

大綱心で交通安全！

本年3月12日に施行された改正道路交通法のポイントについて

お～おはようから
お～おやすみまで
つ～常に交通安全を意識して
な～無くそう交通事故

Vol.9

【問合せ】

本庁防災安全課危機管理グループ

☎ 51111（内線4932）

薩摩川内警察署交通部

☎ 0110

道路交通法の改正により、本年3月から75歳以上の運転者に対する認知症対策が強化されたほか、自動車免許に「準中型免許」が新設されました。今回は、改正道路交通法のポイントについてお知らせします。

75歳以上のドライバーに対する認知症対策の強化

■ 免許更新時の認知機能検査で認知症の恐れがあると判定された場合、医師の診断（臨時の適性検査）が義務付けられます。

また、認知機能検査の結果に応じて、高齢者講習の時間が長くなりま

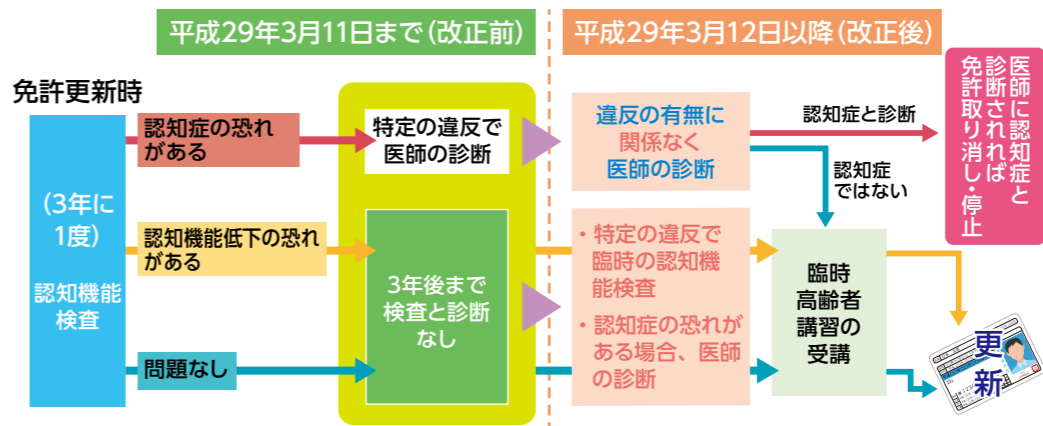
す。（講習は、検査当日ではなく、後日、実施されます）

■ 認知機能が低下した場合に起こしやす

い違反行為（信号無視など18項目）をすると、臨時認知機能検査が行われます。

■ 臨時認知機能検査の結果、認知症の恐れがある場合は、医師の診断を

75歳以上の運転者の認知症対策



受け、認知症と診断されれば、免許の取り消しまたは停止の処分を受けることとなります。認知症と診断されなくても認知機能低下の恐れがある場合は、臨時高齢者講習を受講しなければなりません。

■ 臨時認知機能検査を受けなかった場合や臨時高齢者講習を受講しなかった場合は、免許の取り消しまたは停止の処分を受けることとなります。

準中型免許の新設

従来の自動車免許である普通・中型・大型の3種類に準中型免許が新たに追加され、運転できる自動車の範囲が、下図のように変更されました。

普通免許で運転できる自動車の範囲が狭まり、最大積載量2トン以上4.5トン未満の貨物車などを運転するためには、準中型免許を取得しなければなりません。

ただし、改正前に普通免許を取得した方が運転できる自動車の範囲は、改

正後も変わりません。準中型免許の受験資格は、普通免許と同じで、18歳以上の方です。

改正前	改正後																																
<table border="1"> <tr> <td>車両総重量</td> <td>5トン</td> <td>11トン</td> </tr> <tr> <td>最大積載量</td> <td>3トン</td> <td>6.5トン</td> </tr> </table>	車両総重量	5トン	11トン	最大積載量	3トン	6.5トン	<table border="1"> <tr> <td>車両総重量</td> <td>3.5トン</td> <td>7.5トン</td> <td>11トン</td> </tr> <tr> <td>最大積載量</td> <td>2トン</td> <td>4.5トン</td> <td>6.5トン</td> </tr> </table>	車両総重量	3.5トン	7.5トン	11トン	最大積載量	2トン	4.5トン	6.5トン																		
車両総重量	5トン	11トン																															
最大積載量	3トン	6.5トン																															
車両総重量	3.5トン	7.5トン	11トン																														
最大積載量	2トン	4.5トン	6.5トン																														
<table border="1"> <tr> <td>普通自動車</td> <td>普通自動車</td> <td>中型自動車</td> <td>大型自動車</td> </tr> <tr> <td>普通免許</td> <td>準中型免許</td> <td>中型免許</td> <td>大型免許</td> </tr> <tr> <td>18歳以上</td> <td>18歳以上</td> <td>20歳以上</td> <td>21歳以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>普通免許などの保有2年</td> <td>普通免許などの保有2年</td> <td>普通免許などの保有3年</td> </tr> </table>	普通自動車	普通自動車	中型自動車	大型自動車	普通免許	準中型免許	中型免許	大型免許	18歳以上	18歳以上	20歳以上	21歳以上		普通免許などの保有2年	普通免許などの保有2年	普通免許などの保有3年	<table border="1"> <tr> <td>普通自動車</td> <td>準中型自動車</td> <td>中型自動車</td> <td>大型自動車</td> </tr> <tr> <td>普通免許</td> <td>準中型免許</td> <td>中型免許</td> <td>大型免許</td> </tr> <tr> <td>18歳以上</td> <td>18歳以上</td> <td>20歳以上</td> <td>21歳以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>普通免許などの保有2年</td> <td>普通免許などの保有2年</td> <td>普通免許などの保有3年</td> </tr> </table>	普通自動車	準中型自動車	中型自動車	大型自動車	普通免許	準中型免許	中型免許	大型免許	18歳以上	18歳以上	20歳以上	21歳以上		普通免許などの保有2年	普通免許などの保有2年	普通免許などの保有3年
普通自動車	普通自動車	中型自動車	大型自動車																														
普通免許	準中型免許	中型免許	大型免許																														
18歳以上	18歳以上	20歳以上	21歳以上																														
	普通免許などの保有2年	普通免許などの保有2年	普通免許などの保有3年																														
普通自動車	準中型自動車	中型自動車	大型自動車																														
普通免許	準中型免許	中型免許	大型免許																														
18歳以上	18歳以上	20歳以上	21歳以上																														
	普通免許などの保有2年	普通免許などの保有2年	普通免許などの保有3年																														

最初から準中型免許をとってもOK!

とらいあんぐる

男女共同参画情報コーナー

～一人一人が幸せを実感できるまちへ～

【編集】＝「とらいあんぐる」編集員

【問合せ】＝本庁企画政策部 ひとみらい政策課 ひとみらい政策グループ

☎(23)51111(内線4741)

男女共同参画に関するトピックス紹介

男女共同参画推進フォーラム

埼玉県国立女性教育会館(NWEC)

において、8月25日から27日まで、

「男女共同参画推進フォーラム」が開催されました。ソウルオリンピック柔道の銅メダリストでもある山口香氏の特

別講演や、NWC40周年記念シンポジウム、60件にも及ぶワークショップ

などが開催され、全国から約千人の参加がありました。本市からは、薩摩川

内市ダイバーシティ研究会のメンバー5人が参加。「We do!!一人ひとりが

幸せを実感できるコミュニケーションづくり」をテーマに、ワークショップを企

画・実施して意見交換を行い、全国の参加者との交流を深めました。

参加者の声

▼コミュニケーションづくりをテーマとしたダイアログカフェ(カフェのようなくつろいだ雰囲気の中で行う対話の手法)を順調に進めることができた。今回の学びを次につなげていきたい。これまで学んだことを全国へ発信するという緊張感はあったが、仲間たちと乗り越えることができた。全国で奮闘している女性たちの姿に多くの刺激を受けた。



▲ワークショップの様子

川内ばれっと 設立20周年記念講演

9月10日(日)、川内ばれっと20周年記念事業の一環として、南日本新聞社読者局読者センター長の岩松マミ氏の記念講演が開催されました。「女性が輝

く社会に向けて」をテーマに、自身の経験を踏まえながら「みんなが大切な存在であり、みんなが認められる社会、みんながにっこり笑える社会」を築くことの重要性を説かれました。また、「育児と仕事の両立も、頑張り過ぎない」ことを強調し、女性たちが気負いなく働くための優しいメッセージも発信されました。



▲講師の岩松マミ氏(最前列右から3人目)と参加メンバー

川内ばれっと

平成8年に川内女性政策研究会として発足し、その後、現在の「川内ばれっと」に改称されました。男女共同参画推進のトップランナーとして、幅広い世代を対象とした出張講座など、さまざまな活動を展開しています。

日本女性会議

10月13日から15日まで、「オールとまこまい」を合言葉に、男女平等参画

社会の実現に向けた課題の解決策を探る「日本女性会議2017とまこまい」が北海道苫小牧市で開催され、本市から2人が参加しました。

会場では、ダウン症というハンディを持ちながら作家として活躍する金澤翔子氏の特別揮毫や、その母親である泰子氏の特別講演の他、内閣府男女共同参画局の基調報告、女優で劇作家の渡辺えり氏の記念講演も行われました。さらに、男女平等やワークショップバランスなどをテーマに11の分科会も行われ、学びを深める機会となりました。



▲特別揮毫の様子

参加者の声

▼苫小牧市ならではのおもてなしがあり、記憶に残る大会にしようという姿勢が感じられました。男女共同参画に取り組みことの奥深さ、実践・継続の大切さを改めて考える機会となりました。